

重症筋無力症ってどんな病気？

重症筋無力症
(MG: Myasthenia Gravis)

神経と筋肉のつなぎ目で異常が起こり、
筋肉に力が入らなくなる病気です

重症筋無力症の特徴

- 厚生労働省指定の指定難病
- 国内患者数は29,210人
(2018年の全国疫学調査)
- 年齢・性別を問わず発症
- 筋力低下が起こる部位や程度には、
個人差が大きい
- 症状に波がある
(例:朝は元気でも夕方以降に活動が難しくなる)

重症筋無力症の主な症状



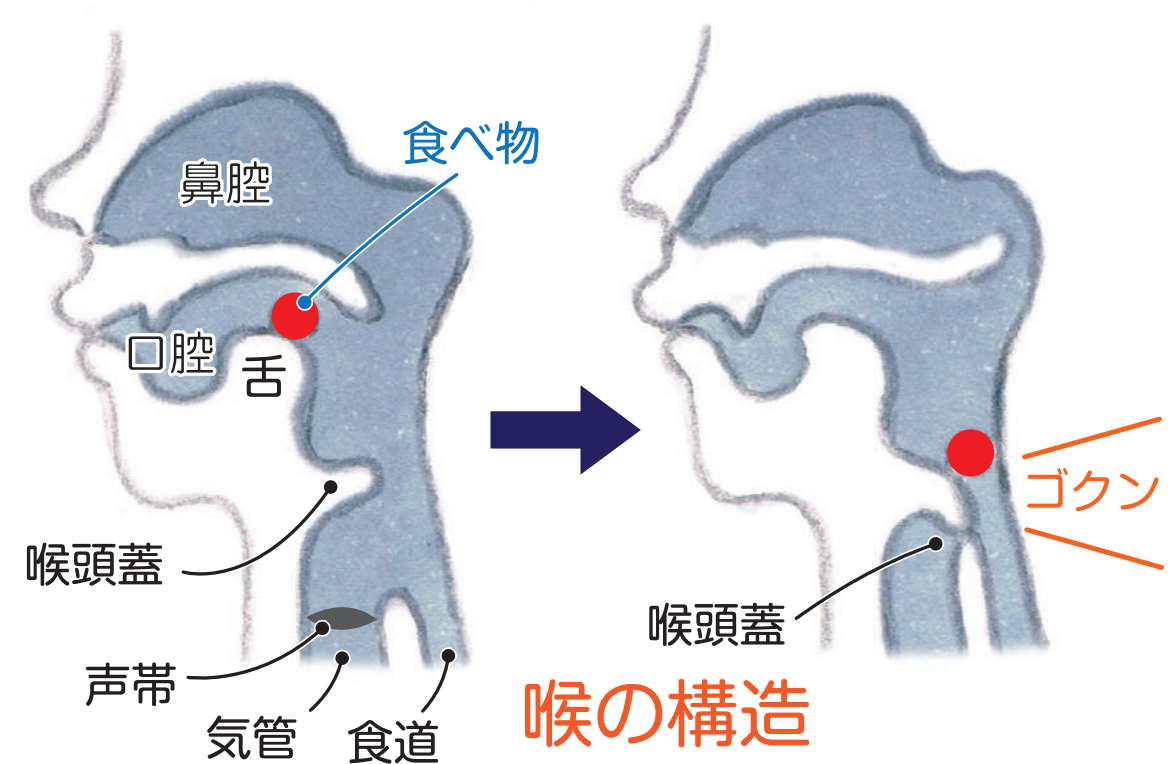
眼瞼下垂・複視

目を使うとまぶたが下がってくる
物が二重に見える



四肢・体幹筋力低下

両腕や両脚、手指の力を保てない
頭や背中の中を支えてられない



嚥下障害・咀嚼障害

食事の時に顎が疲れてしまう
食べ物を噛みづらい
むせやすくなる



構音障害

話すほどに不明瞭な鼻声になり、
ろれつがまわらなくなる
声量を保てない

重症筋無力症の原因

1 重症筋無力症は自己免疫疾患の1つで、免疫システムの「抗体」と呼ばれるタンパク質が、何らかの異常により自分の細胞を攻撃してしまうことで発症します。

2 自分の細胞を攻撃する抗体を「自己抗体」と言い、重症筋無力症の原因として、抗アセチルコリン受容体(AChR)抗体や筋特異的受容体型チロシンキナーゼ(MuSK)抗体という自己抗体が知られています。

3 人は体を動かす時に、脳からの信号を神経を通して筋肉に伝えますが、抗AChR抗体はその神経と筋肉のつなぎ目で信号が伝わるのを邪魔してしまいます。

4 抗AChR抗体によって「補体系」という別の免疫システムが活性化して、そのつなぎ目の構造自体が破壊されることもあります。

重症筋無力症の詳細は
ウェブサイトをご覧ください

<https://mgsource.jp/>

👉こちらからご覧ください👈



医師と相談して適切な治療を受け、症状の変化に応じて様々な生活上の工夫をすることで、できることも増えてきて、行動範囲も広がっていきます。あせらずに治療を続けていきましょう。

難病情報センター 重症筋無力症(指定難病11)

「重症筋無力症診療ガイドライン」作成委員会編 重症筋無力症診療ガイドライン2014. 東京: 南江堂; 2014